

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年2月18日更新

事務事業名		農道・用排水路等整備事業				マニフェスト 関連		全庁横断 課題関連		集中改革 プラン関連	
総合	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり				所属部	事業部	課長名	岐部 則夫	
計画	施策	11	農業の振興				所属課	農政課	担当者名	岡田 晃治	
体系	基本事業	31	生産基盤の確保				所属班	農地整備班	(内線)	1173	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令 根拠					成果優先度評価結果 : ⑨ コスト削減優先度評価結果 : ①
終了・開始年度		一般	6	1	12	10271					単年度のみ
											単年度繰返 (開始年度 18 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	・農産物の荷傷み防止と作業効率アップを図るために農道や用排水路の整備を行う事業。 ・農地及び農業用施設の災害復旧事業 ・農業基盤整備促進事業により排水等の整備を計画する。
【業務の流れ】	・要望(区、農業者、行政)②現地確認③測量、設計の発注④地元説明会の実施⑤工事発注手続き及び実施⑥完了検査⑦施工箇所の現場状況把握 ・農地等災害復旧事業においては、上記以外に補助金申請等業務が発生する。
【主な予算費目】	・3職員手当 11需用費 13委託料 14使用料及び賃借料 15工事請負費 19負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・農作物等の荷痛み防止、冠水防止又維持管理に費やす多大な労力を節減する観点から早期着工を望む。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動) (DO)	新規・拡充区分 27年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
農道・用排水路整備測量設計(3件) 農道改良舗装等整備工事(4件) 農道等維持工事(7件) 水路浚渫(2件)	農道・用排水路測量設計、農道改良・舗装工事、農道等維持工事、農地等災害復旧工事
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア:施工箇所数 イ:地元説明会	(単位) 箇所 回
②対象指標(対象の大きさを表す指標) 農道、用排水路	(単位) 件
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農道、用排水路を良好な状態に整備する。	(単位) 件
※③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠 認定農業者の割合が高くなるにつれ農道等整備した効果が収入に反映されると考えられる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア:事業を完了した施工・委託箇所数 イ:
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2)各指標・総事業費の推移			単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
① 活動指標	ア:箇所 イ:回		22 0	13 0	4 3	10 0	10 3	10 3	10 3	10 3	10 3
② 対象指標	ア:件 イ:		24	16	20	12	20	20	20	20	20
③ 成果指標	ア:件 イ:		24	16	20	12	20	20	20	20	20
投 入 量	事 業 費 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円	7,013		1,400	1,188	7,500	26,964	26,964	26,964
						420	717	2,250			
		(A) 事業費計	千円	36,869	23,119	4,100	25,665	26,322	80,928	80,928	80,928
		(A)のうち指定経費	千円	455	575	640	623	713	456	456	456
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	120	184	168	197	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	4 2,200	4 932	3 1,000	4 800	3 2,760	3 0	3 0	3 0
		(B)人件費計	千円	8,956	3,713	3,984	3,187	10,995	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	45,825	26,832	8,084	28,852	37,317	80,928	80,928	80,928

事務事業名	農道・用排水路等整備事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (S E E)

*原則は26年度の事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

3 評価結果の総括 (S E E) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

- ・要望に対する農道や排水路等の良好な整備を行った。
 - ・要望や受益者の利便性に対応するため、早期に着工できるよう積算等の事務処理を目指す。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（P L A N）

- (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方

□事業のやり方改善（効率性改善）□事業のやり方改善（効率性改善）

- (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

		コスト		
		削減	維持	増加
成 果	向上			
	維持			
	低下			

- ### (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策